

心理学研究科 【学位授与の方針】

心理学研究科は、定められた課程を修め、以下の学修成果を挙げた者に対して学位を授与する。

<学修成果>

〔博士前期課程（修士課程）〕

心理学研究科博士前期課程は、定められた課程を修め、研究指導を受けた上で修士論文を作成提出し、その審査及び最終試験に合格した者に対して修士（心理学）を授与する。

1. 心理学全般にわたる発展的な専門知識を修得し、現代の人間及び人間社会が直面する諸問題に学術的側面から多面的に取り組み、社会的な要請に応えるために自ら考え、表現する力があること。
2. 心理学に関する専門的な研究技能を体系的に習得し、自立して課題を発見・分析し、学術的水準に基づいてその解決に取り組む力を備えていること。
3. 体得した知識と技能を用いて、社会や学界で活躍できる専門的実務者又は学術研究者としての能力を身につけていること。
4. 専門的実務者又は学術研究者としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけていること。

〔博士後期課程〕

心理学研究科博士後期課程は、定められた課程を修め、研究指導を受けた上で博士論文を作成提出し、その審査及び最終試験に合格した者に対して博士（心理学）を授与する。

1. 心理学の専門家としての高度な研究能力とその礎となる豊かな学識を身につけていること。
2. 独創的な研究活動を旺盛な意欲を持って遂行し、研究の成果を広く発表することにより優れた研究者として認められること。
3. 現代の人間及び人間社会が直面する諸問題に学術的側面から多面的に取り組み、解決への道筋をつけていく力があること。
4. 研究者または職業人としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけていること。